NO.

065

教育 本を読むことと共感力

Living Inside Other Minds

ほかの人の心の中で生きる

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 297語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 When we read a novel ❶**by ourselves**, we seem to be alone. Yet in another sense, we are surrounded by people: a lonely boy in nineteenth-century London, a girl who has ❷**run into** trouble at a new school. Through stories, we live, for a few hours, inside minds other than our own.

2 Some psychologists believe that this experience trains our ability to understand others. When we follow a character's thoughts, we practice imagining what someone else feels and wants. ❸**In other words**, fiction may work like a flight simulator for social life. Studies have found that people who read a lot of fiction tend to score higher on tests of empathy. However, such studies show a link, not necessarily a cause, and some experiments have failed to repeat earlier results.

3 Stories also let us meet people we would rarely ❹**bump into** in daily life. Most of us have never visited a refugee camp, ❺**let alone** lived in one, yet a novel can make such a life feel close. Characters who were strangers on the first page ❻**are familiar to** us by the last. A reader in Tokyo may end up ❼**being familiar with** the daily worries of a farmer in Kenya.

4 A character who ❽**is lacking in** kindness at first slowly learns to see through others' eyes, and a girl finally ❾**makes up with** the friend she misjudged. By the time the author ❿**wraps up** the story, we have seen events from several points of view, and we may ⓫**come to understand** that few people are simply villains.

5 When we feel confused or lonely, many of us still ⓬**turn to** books. Perhaps we sense that a story can do what a summary cannot: let us feel, from the inside, what it is like to be someone else.

語注 **empathy** 共感・共感力 **simulator** シミュレーター（模擬装置） **refugee** 難民 **misjudge** 誤って判断する・誤解する **villain** 悪人・悪役

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 by oneself 一人で □□□

alone と同じ。「独力で」の意味もある。for oneself（自分のために・自分で）との違いが頻出 例 *She lives by herself in a small apartment.* 彼女は小さなアパートで一人暮らしをしている。

2 run into ~ ～に偶然出会う・（困難）にぶつかる □□□

走って中に入る→ぶつかる。人なら「偶然会う」（run across / bump into と同じ）、trouble / problems なら「困難にぶつかる」 例 *We ran into heavy traffic on the way.* 途中でひどい渋滞にぶつかった。

3 in other words 言い換えれば □□□

前の内容を別の言葉でまとめ直す合図。長文ではこの後に筆者の言いたいことが分かりやすく書かれることが多い 例 *He is my mother's brother; in other words, my uncle.* 彼は母の兄弟、つまり私のおじだ。

4 bump into ~ ～に偶然出会う □□□

ドンとぶつかる→ばったり会う。run into / come across と同じ。本当に「～にぶつかる」の意味もある 例 *I bumped into an old friend at the station.* 駅で昔の友人にばったり会った。

5 let alone ~ （否定文の後で）まして～ない □□□

前に否定の内容が来て、それより程度の高いものを続ける。much less / still less と同じ 例 *He can't ride a bicycle, let alone drive a car.* 彼は自転車にも乗れない。まして車の運転などできない。

6 be familiar to ~ ～によく知られている □□□

主語は「物事」、to の後は「人」。be familiar with（人が物事をよく知っている）と主語と目的語が逆になる点が頻出 例 *His face is familiar to me, but I can't remember his name.* 彼の顔は見覚えがあるが、名前が思い出せない。

7 be familiar with ~ ～をよく知っている □□□

主語は「人」、with の後は「物事」。be familiar to との書き換え問題が定番：I am familiar with the song.＝The song is familiar to me. 例 *Are you familiar with this area?* この辺りはよくご存じですか。

8 be lacking in ~ ～が欠けている □□□

人の性質や能力が足りないときに使う。lack は他動詞なので lack in とせず、lack confidence とする点に注意 例 *He is lacking in common sense.* 彼には常識が欠けている。

9 make up with ~ ～と仲直りする □□□

make up だけでも「仲直りする」。make up（作り上げる・化粧する・埋め合わせる）など意味が多いので前置詞に注目 例 *Have you made up with your sister yet?* もうお姉さんと仲直りした？

10 wrap up ~ ～を終える □□□

包み込む→まとめて終わりにする。finish / conclude と近い。会議やスピーチの最後で Let's wrap up.（まとめましょう） 例 *Let's wrap up the meeting by five.* 会議は5時までに終えましょう。

11 come to do ～するようになる □□□

自然に変化して～するようになる。come to know / like / understand のように知覚・感情の動詞が続く。become to do とは言わない 例 *I came to like him after we worked together.* 一緒に働いてから彼を好きになった。

12 turn to ~ ～に頼る □□□

助けを求めて～の方を向く。rely on / depend on と近い。「（ページ）を開く」「～に変わる」の意味もある 例 *When she was in trouble, she turned to her teacher for help.* 困ったとき、彼女は先生に助けを求めた。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落で、小説が飛行シミュレーターにたとえられているのはなぜか。 [ ]

① 小説を読むと飛行機の操縦が上手になるから
② どちらも高価で、一部の人しか使えないから
③ 小説は、他人の気持ちを想像する練習を安全にさせてくれるものだから
④ どちらも短い時間で終わる娯楽だから

問2 第2段落の研究について、筆者の態度として最も適切なものはどれか。 [ ]

① 小説を読む人の共感力の高さは示されているが、小説が原因だとはまだ言い切れないと考えている。
② 小説が共感力を高めることは完全に証明されたと考えている。
③ 研究はすべて間違っているので信じるべきではないと考えている。
④ 共感力のテストには意味がないと考えている。

問3 第3段落の内容と一致するものはどれか。 [ ]

① Most readers have lived in a refugee camp.
② Characters in novels always remain strangers to readers.
③ Readers in Tokyo cannot understand people in Kenya.
④ Novels can make lives very different from ours feel close.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1	一人で	2	〜に偶然出会う・（困難）にぶつかる
3	言い換えれば	4	〜に偶然出会う
5	（否定文の後で）まして〜ない	6	〜によく知られている
7	〜をよく知っている	8	〜が欠けている
9	〜と仲直りする	10	〜を終える
11	〜するようになる	12	〜に頼る

背景知識 他人の考えや気持ちを推し量る力は、心理学で「心の理論（theory of mind）」と呼ばれる。小説を読むことは登場人物の心の中を体験することであり、共感力を育てるのではないかという研究が進められてきた。小説をよく読む人ほど共感力のテストの点が高いという結果がある一方、それは「関連」であって「原因」とは限らず、再現できなかった実験もある。入試では、相関と因果の区別にも注意して読む必要がある。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 **一人で**小説を読んでいるとき、私たちは一人きりのように見える。しかし別の意味では、私たちは人々に囲まれている。19世紀のロンドンに住む孤独な少年や、新しい学校で困ったこと**にぶつかった**少女。物語を通して、私たちは数時間の間、自分以外の心の中で生きるのだ。

2 一部の心理学者は、この経験が他者を理解する能力を鍛えると考えている。登場人物の考えを追うとき、私たちは他人が何を感じ、何を望んでいるかを想像する練習をしている。**言い換えれば**、小説は社会生活のための飛行シミュレーターのように働くのかもしれない。研究では、小説をたくさん読む人は共感力のテストで高い点を取る傾向があることが分かっている。しかし、そうした研究が示すのは関連であって必ずしも原因ではなく、以前の結果を再現できなかった実験もある。

3 物語はまた、日常生活ではめったに**偶然出会わ**ないような人々に出会わせてくれる。私たちのほとんどは難民キャンプを訪れたこともなく、**まして**そこで暮らしたことなど**ない**。それでも小説はそうした生活を身近に感じさせてくれる。最初のページでは見知らぬ人だった登場人物が、最後のページまでには私たち**によく知られた**存在になっている。東京の読者が、最後にはケニアの農家の日々の悩み**をよく知っている**ことになるかもしれない。

4 最初は優しさ**に欠けている**登場人物が少しずつ他人の目でものを見ることを学び、少女はついに誤解していた友人**と仲直りする**。作者が物語**を締めくくる**ころには、私たちは出来事をいくつもの視点から見ていて、単なる悪人などほとんどいないということ**が分かるようになる**かもしれない。

5 混乱したり寂しかったりするとき、私たちの多くは今でも本**に頼る**。おそらく私たちは、要約にはできないことが物語にはできると感じているのだ。ほかの誰かであるとはどういうことかを、内側から感じさせてくれるということが。

要旨 小説を読むことで私たちは他人の心の中を体験し、普段出会わない人々を身近に感じられる。共感力を高めるかどうかはまだ研究途中だが、物語は他人であることを内側から感じさせてくれる。

解答・解説 ANSWERS

問1 3 **問2 1** **問3 4**

問1 正解 3 根拠は第2段落の we practice imagining what someone else feels and wants（他人が何を感じ望むかを想像する練習をしている）と、それを In other words で言い換えた fiction may work like a flight simulator for social life。シミュレーターが本物の前の練習の場であるように、小説は社会生活の練習の場だということなので 3 が正解。1 は比ゆを文字どおりに取った誤り。2 と 4 は本文にない。

問2 正解 1 根拠は第2段落最後の such studies show a link, not necessarily a cause, and some experiments have failed to repeat earlier results（研究が示すのは関連で必ずしも原因ではなく、再現できなかった実験もある）。よって 1 が正解。2 は「完全に証明された」が言いすぎ。3 は研究結果そのものは紹介しており、すべて間違いとは言っていない。4 のテストの意味を否定する記述はない。

問3 正解 4 根拠は第3段落の Most of us have never visited a refugee camp, let alone lived in one, yet a novel can make such a life feel close.（難民キャンプを訪れたこともなく、まして住んだこともないが、小説はそうした生活を身近に感じさせる）。よって 4 が正解。1 は never visited ... let alone lived in one と逆。2 は are familiar to us by the last（最後には親しい存在になる）と矛盾。3 は東京の読者がケニアの農家の悩みをよく知るようになるとあり反する。